



「郷什塾」組織図

理事会

監理グループ

児童教育、支援グループ（郷中教育、什教育手法の園児・学童保育等への適用）

薩摩の郷中教育、会津の什教育の教育手法を現在の幼児・児童教育に適用し、自律性、積極性、協調性、礼節を有する青少年の育成を支援します。

社員教育グループ（ビジネスマナー・リーダーシップ・フォロワーシップ、チーム育成・プロジェクト編成等の指導、教育）

日本人固有の自他共栄の精神を受け継ぐ海上自衛隊勤務において、目的・目標を共有するチーム作り、リーダーシップ・フォロワーシップの育成に全身全霊を投入した海自OBが退官後の民間会社勤務で主として社員教育に従事した教訓等を基に確立した海自方式社員教育を提供します。

危機管理指導・教育グループ（危機管理計画（BCP）、危機管理マニュアルの作成支援及び危機管理訓練の計画、実施指導）

海上自衛隊において24時間危機管理に従事した豊富な経験をもとに、定年退職後民間企業において危機管理指導を行った海自OBの能力、資源を社会に還元すべく編成されたグループであり、いかなる組織の危機管理体制の構築も支援可能です。

先端技術支援グループ（AI、IOT、ロボット技術適用の支援、提案、コンサル）

海上自衛隊は、昭和50年代初頭からコンピューターを使用した艦艇指揮システム、ミサイル等攻撃システムの開発に努力してきました。特にこれらの開発には若手のオペレーション幹部を充当し、現在のシステムの構築に成功しました。すなわち、海上自衛隊は現在のAI、IOT、ロボットシステムの開発に約40年前から本格的に従事していました。これらのシステム開発に寝食を忘れて従事していた当時の海自OBは現在60歳～70歳であり、日本の宝でもある彼らの能力を日本社会の発展に還元すべく編成されたグループです。